

## 事業名：公共街路灯新設更新等事業

道路管理課 維持係

政策	04 安全で快適な都市生活の充実								
施策	01 安全な暮らしの確保								
基本事業	02 防犯活動の推進								
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	非対象	会計区分	一般会計	補助金	

<b>事務事業の目的と成果</b>	
対象（誰、何に対して事業を行うのか）	
市内全域	
手段（事務事業の内容、やり方）	
市が管理している市道幹線の道路照明について、必要な改修及び更新等を行う。	
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	
公共街路灯の新設・更新等により、その機能の維持・向上と、夜間の交通安全が図られる。	

<b>指標・事業費の推移</b>						
区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標1	市内全域面積	km <sup>2</sup>	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標2						
活動指標1	新設更新灯数	灯	11	45	85	40
活動指標2						
成果指標1	公共街路灯数	灯	3,752	3,788	3,837	3,897
成果指標2						
事業費(A)		千円	3,136	3,493	7,083	21,000
正職員人件費(B)		千円	803	2,405	4,688	2,347
総事業費(A+B)		千円	3,939	5,898	11,771	23,347

	<b>事業内容（主なもの）</b>	<b>費用内訳（主なもの）</b>
25年度	道路照明設備点検事業により判明した老朽化による倒壊危険度が高い公共街路灯の更新、撤去	老朽化した公共街路灯の更新に係る経費 6,866千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
道路法第2条第2項に規定される道路附属物として一元的な管理を行うため、平成26年度より土木事務所道路管理課に事務移管を行った。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）

(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 妥当性が低い	理由 根拠	公共街路灯は、市民の夜間における交通安全等を図るために必要な道路附属物であり、市が新設・更新等を行うことが妥当である。

(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

<input checked="" type="radio"/> 貢献度大きい <input type="radio"/> 貢献度ふつう <input type="radio"/> 貢献度小さい <input type="radio"/> 基礎的事務事業	理由 根拠	不特定多数の市民が利用する市道幹線の道路照明を市が直接整備することで、夜間の交通安全と犯罪等の防止を図ることができることから、安全で快適な都市生活の実現に向けて貢献度は大きい。

(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がらない	理由 根拠	平成25・26年の2か年で実施している道路照明設備点検事業の結果に基づき、平成25年度は、腐食度が高く、倒壊のおそれのある公共街路灯について改修等を実施した。

(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？

<input type="radio"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小・なし	理由 根拠	道路照明設備点検事業の結果に基づく修繕計画を策定することにより、今後国の補助メニューを活用した計画的な改修等が図られる。

(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？

<input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> なし	理由 根拠	修繕計画を策定することにより、今後、国の補助メニューの活用が期待できる。